

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 花き生産振興推進指導費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111(内4114)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,878 千円 (前年度予算額： 2,228 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,228	0	0	0	0	0	0	0	2,228
要求額	1,878	0	0	0	0	0	0	0	1,878
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

花きに関する情報収集と、それを活かした施策の立案、展開による生産振興を推進する。

(2) 事業内容

ア. 花き生産振興指導事業(1,428千円)

・花きに関する情報収集と、それを活かした施策の立案、展開による生産振興を推進する。

・国際園芸アカデミーに関する業務や高校生花いけバトル全国大会に係る業務などにも対応する。

イ. 関東東海花の展覧会事業(450千円)

・関東東海の1都11県主催の「花の展覧会」に参画

(3) 県負担・補助率の考え方

花きに関する情報収集と、それを活かした施策の立案、展開は県産花きの生産振興を図るうえで非常に重要であり、県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	508	会議出席、調査旅費等
需用費	602	事務消耗品、印刷製本
役務費	207	通信運搬費、賞状筆耕料
使用料	11	集中管理車使用料
負担金	550	関東東海花の展覧会等負担金等
合計	1,878	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

ぎふ花と緑の振興計画（仮称・令和8年3月策定予定）	1「花と緑の生産振興」
〃	2「花と緑の文化振興」

(2) 国・他県の状況

平成26年6月20日、花き産業及び花き文化の振興を図り、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与するため、「花きの振興に関する法律」が成立した。

(主な内容)

- ・農林水産大臣は、花き産業及び花き文化の振興に関する基本指針を策定
- ・都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定
- ・花き産業に関する施策
- ・花き文化に関する施策

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・花きに関する情報を収集し、それを活かした施策立案と実施により生産振興と生産者の経営の安定を図るとともに販路拡大に取り組み、現在の花き生産額を維持し、安定した推移を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
① 主要品目の花き産出額（億円）	—	43	—	46	53	81%
② 花き産出額（億円）	61	45	70	—	—	64%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当初予定していた展示会や花き生産者団体が主催する各種検討会が中止となったが、花き生産者の状況を把握し、生産・流通・販売の各過程で助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。</p> <p>指標② 目標：64億 実績：48億 達成率：75%</p>
令和5年度	<p>・関東東海花の展覧会への出展、花き生産者団体が主催する各種検討会において助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。</p> <p>指標② 目標：66億 実績：47億 達成率：71.2%</p>
令和6年度	<p>・関東東海花の展覧会への出展、花き生産者団体が主催する各種検討会において助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。</p> <p>指標② 目標：68億 実績：45億 達成率：66.2%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	・花き業界が官・学・民が一体となった支援を求めている、引き続き情報収集し、それを活かした施策立案と実施により生産を振興する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	・花き生産者の状況を把握し、生産・流通・販売の各過程で助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	・実施内容を精査し効率化を図るとともに、より効果が上がるよう努める。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・事業をより効果的に進めていくためには、関係機関・団体が連携し一体となった取組を展開していかなければならない

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・以前より花き消費が低迷し生産者の経営環境は厳しい状況となっているため、引き続き、生産振興及び販路拡大を促進する。

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	<div style="text-align: right;">【〇〇課】</div>
組み合わせる理由 や期待する効果 など	